

[提出先：リサーチ・イニシアティブセンター]

*添付資料：履歴・業績書 *手書き不可

受付番号	
------	--

2020年10月15日提出

立教大学国際学術研究交流制度
2021年度「招へい研究員」申請書(記入要領)

受入 教員	所属	文学部	職名	教授
	氏名	立教 太郎	印	
受入学部・ 研究科・研究所 等		文学部	責任者氏名	池袋花子 印
招へい研究員 候補者氏名	アルファベット (First/LAST) : ※LAST Name は大文字で記入	Channing Moore WILLIAMS		
	敬称: Prof. ・ Dr. ・ その他 ()	1970年7月18日生		
	フリガナ: チャニング・ムーア・ウィリアムズ	性別: 男 ・ 女		
	漢字表記 (ある場合):	国籍: 米国		
希望する 招へい期間	※立教大学での招へい滞在期間 (日本到着日～日本出発日) を記入 2021年5月11日から2021年5月31日まで (21日間)			
招へい研究員 候補者所属機関 ※英語で記入	機関名 (大学名等) :	Saint Paul's University		
	部局名 (学部名等) :	Faculty of Arts		
	職名 :	Professor		
	所属機関 URL :	http://www.saint_paul_university/en/		
	住所 :	123 River Road, GA 12345, U.S.A.		
	所在国 :	United States of America		
	所属機関最寄りの国際空港 :	Hartsfield-Jackson Atlanta International Airport		
	TEL :	+1 234 567 8910		
	※採択結果を通知するメールアドレス (原則として所属機関から付与された候補者個人のものを) を記入	e-mail : abcdef@stpauls.edu		
現住所	住所 :	456 Mountain St, GA 98765, U.S.A.		
	TEL :	+1 109 876 5432		
専門領域	アメリカ文学			
本務機関以外の 役職等	なし			
最終学歴	取得学位 :	文学 (修士 ・ 博士)		
	取得大学 :	Reifsneider University 取得年 : 1998年		
過去の 利用実績	※受入教員もしくは招へい研究員候補者が2016年度以降に招へい研究員制度を利用したことがある場合は、年度と受入教員/招へい研究員の別を記入 2016年 受入教員 立教 太郎/招へい研究員 Arthur Lloyd			
本学宿泊施設 (池袋校宅) 利用希望	希望有で同伴者がいる場合、同伴者の氏名・フリガナ・生年月日・性別・続柄を記入	印 ・ 無 Samuel Mather ・ サミュエル メーザー ・ 2000年1月1日 ・ 男 ・ 息子		

コメントの追加 [A1]: 受入教員ではなく、受入学部・研究科・研究所等の責任者氏名・承認印であることに、ご注意ください。

コメントの追加 [A2]: Prof.またはDr.以外の敬称が適している場合は、() 内に記入してください。

コメントの追加 [A3]: 招へい期間は、日本到着日～出発日です (居住地出発日・帰着日ではありません)。ご注意ください。

コメントの追加 [A5]: 英語表記のページのURLを記入してください。無い場合は、原語ページでも構いません。

コメントの追加 [A4]: 英語圏以外の所属機関であっても、原則として、英語で記入してください。英語表記が不可の場合のみ原語でも構いません。

コメントの追加 [A6]: 招へい研究員候補者所属機関の最寄り国際空港について、正式名称を記入してください。旅費の支給金額に関わりますので、候補となる国際空港が複数ある場合は、申請書提出時に、窓口にてご相談ください。

コメントの追加 [A7]: 原則として、所属機関から付与されているメールアドレスを記入してください。

コメントの追加 [A8]: 学位の記載漏れにご注意ください。

コメントの追加 [A9]: 採択後に同伴者についても、パスポート情報の提示を求めますので、あらかじめご了承ください。

*ご記入いただいた情報は、審査ならびに採択後の各種受入手続きに利用します。

1. 本学での研究テーマならびに本学での研究交流活動計画（招へい研究員候補者の最近の中心研究課題も踏まえて記載してください。）

招へい研究員候補者の Channing Moore WILLIAMS 氏は、〇〇の最先端の研究を行っている研究者であり、本学で受入教員と・・・

2. 本学または受入研究者との研究交流実績

招へい研究員候補者の Channing Moore WILLIAMS 氏と受入教員は、2010 年から共同研究を行っており・・・

3. 招へいにより期待される効果

今回の招へい期間中に〇〇に関する動向について、招へい研究員候補者の Channing Moore WILLIAMS 氏と調査を行うことで・・・

(特記事項) 本学との学術協定(学部間・研究所等間を含む)の締結または既存協定の維持・強化に資する活動を行う場合は、下記にその内容を記載してください。
Saint Paul's Universityでは、**本学との協定について・・・**

コメントの追加 [A10]: 無い場合は、「なし」と記入してください。

*記述枠は適宜調整のこと。

4. 滞在中のプログラム(少なくとも各週1回の活動を本学にて行うこと)

プログラム種別 例) 講演会、セミナー、研究会	概要 例) ○○に関して、講演・パネルディスカッションを行う。 ※講演会等のタイトルの記載も可	実施予定日 例) 2021年9月23日 (木)	対象者 例) 学生、教職員、一般
講演会	講演会タイトル ○○に関する米国の動向	2021年5月12日 (水)	学生、教職員
研究会	アメリカ文学に関する意見交換を行う。	2021年5月20日 (木)	教員
セミナー	セミナータイトル △△に関する最新の分析方法	2021年5月28日 (金)	大学院学生、教員

*欄が不足する場合は適宜追加のこと